日本封筒フォーラム

厳しい業界環境を 報告

懸念される郵便料金値上げ影響

【ビューロウ発】日本封筒フォーラム実行委員会（山田樹孝実行委員長）は、7月5日、午後2時30分から、東京・竹橋のKKRホテル東京で、「日本封筒フォーラム2024」を開催、封筒メーカーをはじめ、洋紙代理店、機械・材料メーカーら70人が出席して、デジタル社会における封筒の可能性を探った。

フォーラムは、杉浦正樹委員の進行で、はじめに山田実行委員長が多数の来会を謝したあと、事業変革に勇気と決断を持って取り組んでいかなければならないと、次のように力強く所感を述べた。

「昨年より封筒年次大会から新たに日本封筒フォーラムに改称した。第1回から数えると第28回となるが、封筒製造における様々な問題や課題を、サプライヤーの協力を得ながら解決していくことで、生産の効率化・合理化につなげてきた。

毎年、全紙工では、毎年、封筒製造業14社の実態調査を実施している。令和5年度の全売上高は981億円で、封筒および封筒類の比率は70%、数量は115億枚、金額は656億円となった。令和4年度との対比は、全売上高が4・5%増、数量は1・5%減、金額は2・6%増となり、数量は減っているが、金額が増えている。要因としては、原紙・フィルム・糊などの原材料の値上げで、各社が価格修正したことが大きい。

種類別では、市販品が38%、別注品が62%。封筒製造に使用した原紙は半晒クラフト30%、カラー26%、晒・片ツヤ晒クラフト・ホワイト38%、その他6%。数量に関しては、年々約3%の減少傾向にあり、コロナ禍の2021年には7%減となった。また、昨今、DX化によるペーパーレス化の動きが加速しており、秋に予定されている郵便料金の値上げにより、さらに加速するのではと懸念している。

情報伝達の手段として使われてきた封筒が、今後どのように変化していくのかを注視し、紙媒体としての特性を生かしつつ変化に素早く対応し、将来に向けての事業変革に勇気と決断を持って取り組まなければならない。今後も日本封筒フォーラムへの理解と支援、そして封筒業界の発展のためにお力添えを願う」

次に、全日本紙製品工業組合・黒田章裕理事長が「紙製品全体もデジタル化やライフスタイルの変化によって量を減らしている。新しい使い方などを提案して、何とか減少のスピードを抑えているのが現状。ノートは以前、記録するためのものだったが、いまはうれしい時の気持ちや、夢を書いたりする使い方が増えている。消費者にデジタルで測れる価値や、より早く、安くという価値以外のものを提供していく必要がある。時代の変化に対応する変革を期待している」と、挨拶。

次に、来賓の日本郵便株式会社郵便・物流事業統括部切手・葉書室・松本俊仁室長が「手紙文化の振興を図るために、小中学校で手紙の書き方授業のサポートをしているが、自分の住所を正確にいえる子どもは6割を切っており、被災した時や迷子になった時に大変なことになる。何としても皆さんと一緒に紙製品業界を盛り上げていきたい」と、祝辞を述べた。

講演会では、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社コンサルティング事業部デジタルトランスフォーメーション推進部・木戸孝哉コンサルタントを講師に迎え、「デジタル社会の進展と紙媒体の可能性について」をテーマに行われた。

木戸講師は、「デジタルのメリットは、作業スピードの向上だが、デメリットは利用者が少ない場合、一人当たりのコストが高くなること。デジタル社会は成長の原動力であり、すべてがつながるからより速くなるDX化へと流れていく。しかし、デジタル化に適応できると思っている人はわずか28%。コロナ禍によりZoom、在宅勤務、国のDX化推進が急速に進み、ペーパーレス化が顕在化してきたが、アナログ（紙）の優位性はあり、一気には変わらない。紙の優位性は、電源レス、使い捨て可能、高レスポンスで、多くの人が利用しやすい媒体。公共サービスでは、紙に戻る事例もあるなど、一部の分野（小ロット・全世代対応が求められる分野）では、デジタルシフトは緩やか。とは言え、変化は確実に起こっており、既存の顧客ネットワークや業界としての知見を活かし、デジタルサービスの提供を含む、新たな挑戦が必要である」と、今後の取り組みの方向を示唆した。

少憩後、全米封筒協会（EMA）・マリークラーク理事長を講師に迎え、「米国の封筒とメーリング市場の最新情報」を聴講した。

この後、懇親会に入り、和やかに歓談した。

講演会も催した日本封筒フォーラム

挨拶する山田実行委員長

TRADE MARK
月印紙製品
株式会社ヤマガタ

文紙MESSE

6,776人が来場

日本文紙 MESSE 大賞グランプリ

サクラクレパス

「こまごまファイル」

文紙MESSE協議会（一般社団法人大阪文具工業連盟、大阪紙製品工業会、中部文具工業協同組合の3団体で構成）は、8月6、7日、大阪市中央区のマイドームおおさか全館を使用して、文具・紙製品の祭典「文紙MESSE2024」を開催、2日間で前年比104・9%増の6，776人が来場して賑わった。

初日午前10時から大阪ジュニアバンドの金管バンドの演奏とバトントワリングによるオープンニングセレモニーが行われ、主催者を代表して、大阪紙製品工業会・黒田章裕会長が「時代の流れの中で、文紙MESSEは今日ではWEBとリアルのハイブリッド開催となり、リアルとオンラインの運営を連動させることで、より多くの人に商品やサービスを見ていただけるようになった。商品の展開においても今までは価格や量を基準に提案してきたが、使う価値や喜びを提供する時代へと変わった。商品を見て、触って、試して、体験ができることがリアルの良さだと思う。来年開催される大阪・関西万博は多様性をテーマとしているが、文紙MESSEにおいても個々の人がそれぞれの目的やニーズに合う商品を見つけてほしい」と挨拶。祝電披露のあと、主催者、協賛団体、後援団体の各代表のテープカットで開場した。

2階～3階の展示フロアでは、「私の推し文具」をテーマに、文具紙製品メーカー76社が新製品や話題の商品を中心に紹介。出展各社のブースでは、体験イベントやワークショップ、インスタ映えするフォトスポットなどを用意して、賑わいを呼んだ。

企画イベントでは、ショッピングゾーン（37テーブル）、文具エキスパートの講演や出展メーカーが自社の商品や企業PRを行う「文具の匠」、スタンプラリー、大阪アニメーションアーツの「アニメの森」イベント（新）、大阪市消防局や大阪市立図書館とのコラボイベントなどを開催して、見本市を盛り上げた。

2日目の午後4時から「日本文紙MESSE大賞」の表彰式が行われ、グランプリ（大阪府知事賞）にサクラクレパスの「こまごまファイル」が選ばれた。また、機能性部門の最優秀賞（大阪府ものづくり振興協会会長賞）には、コクヨの洗えるハサミ「サクサ」、デザイン部門の最優秀賞（大阪デザインセンター理事長賞）には、コクヨの本に寄り添う文鎮がそれぞれ受賞した。**【次号詳報】**

来年は8月5・6日

なお、次回の文紙MESSE2025は、来年8月5、6日に開催する。

日本文紙MESSE大賞受賞社の記念撮影

キングジム

木村常務が社長に

宮本社長は取締役会長に就任

株式会社キングジムは、8月1日開催の取締役会で、9月19日付で、宮本彰社長が取締役会長に就き、後任の代表取締役社長兼CEOに木村美代子常務の昇格を決議した。9月19日開催予定の第76回定時株主総会およびその後の取締役会において正式に決定される予定。新たな役員体制のもと、更なる事業成長、企業価値の向上を図る。

新社長に就任予定の木村美代子氏は1964年6月12日生の60歳。2022年9月にキングジム取締役常務執行役員として着任、現職は取締役常務執行役員兼開発本部長兼CMO。

【木村美代子氏職歴】

1988年4月プラス株式会社入社、1999年5月アスクル株式会社入社、2010年2月アスマル株式会社代表取締役社長、2017年8月アスクル株式会社取締役CMO執行役員BtoCカンパニーライフクリエイション本部長兼バリュー・クリエーション・センター本部長、2021年5月同社取締役プランディング、デザインおよびサプライヤーリレーション担当、6月アサヒホールディングス株式会社（現AREホールディングス株式会社）社外取締役（監査等委員）（現任）、2022年9月キングジム取締役常務執行役員（現任）、2023年6月日本郵政株式会社社外取締役（現任）。

11月15日は
「いいインコの日」
sedia
since 1932
www.sedia.co.jp

heart
www.heart-group.co.jp
人から人へ心を伝える ハート紙製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー・環境対応製品
ハート株式会社

SAKURA COLORING THE FUTURE
PIGMA® HOLDER
ピグマ®ホルダー
線を選び、輝きを纏う
PIGMA®一進化するDNA
Navy Blue
Graphite
Black
Crimson Red
「ピグマ」「PIGMA」は株式会社サクラクレパスの登録商標です。
1 好みの軸色の PIGMA® HOLDER を選ぶ
2 好みのペン先の PIGMA® を選ぶ
Point
低重心で疲れにくく、安定した操作性を実現
アルミニウム × の本体軸 真鍮
ウルクル
まわして装着
Point
ピグマ®を入れても握りやすい細軸設計
キャップの天面には桜型の刻印入り
世界初！ 水性顔料サインペン PIGMA®
SAKURA MICRON PIGMA 05 水性 耐水性
用途に合わせて選べるペン先
小売価格 ¥220（本体価格 ¥200）
ピグマ 03 細かいところに 手帳・ノートに書く
ピグマ 1 はっきり見やすく メモに書く
ピグマ FINE とめ・はね・はらいで美文字に ハガキに書く
株式会社サクラクレパス
https://www.craypas.co.jp